

議事概要

1. 日 時 令和4年3月7日（月）13時00分～15時00分

2. 場 所 札幌第1合同庁舎 2階講堂
（札幌市北区北8条西2丁目）

3. 出席者

[委員長]

高橋 清 北見工業大学 教授

[委員]

岡田 美弥子 北海道大学大学院 教授

加藤 由紀子 北海商科大学 教授

岸 邦宏 北海道大学大学院 教授

久保 俊幸 北海道商工会議所連合会 副会頭

島本 和明 日本医療大学 総長

菅井 貴子 気象防災キャスター

4. 議 事

○令和4年度予算に向けた道路事業（直轄事業）の新規採択時評価について

- ・一般国道235号（日高自動車道）静内三石道路（静内～東静内）
- ・一般国道236号（帯広・広尾自動車道）大樹広尾道路（豊似～広尾）

【委員からの主な意見】

一般国道235号（日高自動車道）静内三石道路（静内～東静内）

- ・ JR 日高線の廃線に伴い、地域の公共交通の手段がバスに置き換わっている。公共交通と高規格道路が連携した取り組みが今後地域にとって重要。
- ・ 魅力的な観光地を有する地域であるが、観光地へのアクセス性に劣るため、早期に浦河町まで全線開通すべき。
- ・ 軽種馬の長距離輸送において、走行中の揺れによる馬への影響は非常に大きい。このような地域産業の支援の観点からも重要な道路。

一般国道236号（帯広・広尾自動車道）大樹広尾道路（豊似～広尾）

- ・ 地吹雪や津波浸水等の災害リスクがある地域であり、災害に強い道路とすべき。
- ・ 帯広・広尾自動車道沿線の大樹町では、過年度に道の駅を拠点とした自動運転サービスの長期実証実験を行っており、その際に、都市間バスと連携した取り組みもあった。今後、高規格道路の整備が進めば、公共交通に関して様々な取り組みが考えられる。

共通

- ・事業化から完成まで時間がかかるため、早期の開通に向けて取り組むことが重要。
- ・医療施設等の主要拠点までのアクセスルートは国道1本しか存在しない。代替性の観点からも重要な道路。
- ・全国に比べて、高規格道路の整備が遅れている北海道においては、まず2車線だとしてもネットワークをつなげることが重要。一方で、災害時にも強い4車線化等の事業についても進めて行くことが必要。
- ・費用便益分析について、個別の事業では道路の効果を十分に計測出来ないと考えられるため、利用状況も踏まえ路線一体で評価することが重要。

【委員長による総括】

- ・一般国道235号（日高自動車道）静内三石道路（静内～東静内）
- ・一般国道236号（帯広・広尾自動車道）大樹広尾道路（豊似～広尾）
の新規事業化については妥当である。

以 上